

法人理念	お子様の「生きる力」を育むことを目的とし、「大人になっても通用する方法」を教えていく		
支援方針	お子様の特性に合わせカリキュラムを作成し無限の可能性を信じぬき生きる力を育てまいります。		
営業時間	児童発達支援/放課後等デイサービス 9:00~17:00 保育所等訪問支援 8:00~17:00	送迎実施の有無	あり(常時ではない) なし
支援内容			
本人支援	健康・生活	自分の身体の状態(痛い箇所や疲れ具合など)を自覚し、体調コントロールをしていけるように、疲れの温度計を活用しています。毎回、疲れ度の確認を行い、休憩が必要な場合は自分から要求し、社会に出た時に活かす事が出来るように、自分の身体が何分休んでどれくらい回復するのかを体験出来るようサポートしています。	
	運動・感覚	理学療法士等による運動や感覚に関する支援計画を立てています。主に、2つに分かれ、1つはアロマオイルを用いて、セルフマッサージの練習を行い、自分の疲れを取る事や、感覚刺激を入れる事で、感覚調整を行います。2つ目は、粗大運動や、巧緻性、バランス力・筋力・体幹力・目と手の協調など、全体的な運動能力を上げる為のメニューを取り入れています。	
	認知・行動	保育士等による認知と行動に関する支援を行います。状況を一つ一つ分かりやすく視覚的に説明し、何の為にしているのかを教えていきます。モチベーションを保つ為に、トークンシステムの活用も行っています。自分の強みや弱みを知り、得意を活かして好きな事を見つけたり、苦手な事の対処法を見つかる事が出来るように、自己認知支援を行っています。	
	言語 コミュニケーション	まずは、自分の気持ちを知り、それを相手に伝えるように伝えていく方法を学びます。視覚的に紙に書いて気持ちを聞き出したり、気持ちを共感し、伝え方のロールモデルを示して教えていきます。伝える為に必要な5W1Hを、視覚的に教えています。	
	人間関係 社会性	小集団の中での関わり方や分かる喜びを、コグニティブトレーニングや聞く聞くドリル等の教材を用いて、ロールプレイをしながら学んでいきます。相手に誤解されそうな不適切な言動に対しては、気持ちを共感した上で、正しい伝え方を教えていきます。	
家族支援	ご家庭や学校などでの様子を聞き、支援に活かしていけるように、月に1回程度は、ご家族との面談を行うように計画に入れています。本人及び兄弟児についてのご相談も承っています。必要に応じて保護者及び自閉症を詳しく学びたい方へカウンセリングを行っています。	移行支援	幼稚園から小学校、小学校から中学校、中学校から高校、高校から大学(短大、専門学校)又は社会人への移行はもちろん、進級するに当たって必要な、年齢相応の振る舞いや、知っておくと安心する「変わる事」などを教えています。
地域支援・地域連携	講演活動・セミナーの開催	職員の質の 向上	県主催の療育等の研修への参加、厚生労働省等がアップしている動画研修、自閉症に関する事業所内研修など最低月1回は研修を行っています。
主な行事等	季節に応じた内容をセッションの中に取り入れています。通常セッションは、1時間程度だが、長期休みは通常より長い時間のご利用となる為、外出して公共施設の利用の仕方を学んだり、季節に応じた行事を計画しています(夏祭り、運動会、クリスマス会など)。		